

こころの健康づくりアンケート調査票

【ご協力をお願い】

町民の皆様には、日ごろから町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本町では令和元年に精華町自殺予防対策計画を策定しました。本調査は精華町第2次自殺対策計画の策定に向け、心の健康に関する町民の皆様の現状や考えなどをお聞きし、計画の策定に関する基礎資料を得るために実施するものです。住民基本台帳上、精華町に住所地がある16歳以上の方1,000人を無作為に選ばせていただきました。

本町全体の実情や傾向を把握するために、大変貴重な資料となります。調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

調査結果につきましては、ホームページ等で公表していく予定です。

なお、このアンケートは無記名で行い、皆様からの回答はすべて統計的に処理し、個人にご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

精華町長 杉浦 正省

【回答方法】①調査票記入または、②右記の2次元コードにてご回答ください。

（調査は10～15分程度で終わります。）

※WEBで回答される場合は下記のIDを最初に入力してください。

ID：10001（重複回答を防ぐ目的のため、個人を特定するものではありません）



【回答期限】令和6年8月26日（月）

【調査票記入に当たってのお願い】

- 1 宛名のご本人がご回答ください。
もし、ご本人が記入できない場合は、身近な方などが、ご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- 2 回答はあてはまる番号を○で囲んでください。
質問によって、○をつける数を指定しておりますので、その範囲内で記入してください。
- 3 「その他」を選択した場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和6年8月26日（月）までに郵便ポストへ投函してください。
- 5 この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

精華町 健康福祉環境部 社会福祉課 共生社会係

〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻 70 番地

電話 0774-95-1904 メール fukushi@town.seika.lg.jp

この調査は、ご回答者を無作為で抽出しているため、宛名のご本人の様子がわかりません。ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない、回答したくない場合などは、無理に記入していただく必要はありません。

尚、回答しにくい質問がある場合は、回答できる質問だけご記入ください。

I はじめに、あなたのことについておたずねします

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

※ 性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は、回答をいただかなくても結構です。

1. 男性	3. その他	年齢 () 歳
2. 女性		(令和6年7月1日時点)

問2 あなたがお住まいの地域は、次のどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 下粕・粕田エリア(※1)	2. 祝園・新祝園エリア(※2)
3. 山田荘エリア(※3)	4. 桜が丘エリア
5. 光台エリア	6. 精華台エリア

※1 → 菱田、滝ノ鼻、中久保田、舟、里、僧坊、谷、旭

※2 → 北稲八間、南稲八妻、植田、菅井、北ノ堂、馬淵、南、中、東、西北、祝園西

※3 → 山田、乾谷、柘榴、東畑

問3 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。

約 () 年	※1年未満の場合は「1」年と記入してください。
---------	-------------------------

問4 あなたは結婚していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 既婚・配偶者あり	2. 離別
3. 死別	4. 未婚

問5 あなたの家の世帯構成をお選びください。(あてはまる番号1つに○)

1. ひとり暮らし	2. 配偶者のみ	3. 親と子(2世代)
4. 祖父母と親と子(3世代)	5. その他	

問6 あなたの主たるご職業をお選びください。(あてはまる番号1つに○)

1. 会社・団体などの役員	2. 勤めている(管理職)
3. 勤めている(役員・管理職以外)	4. 自営業(事業経営・個人商店など)
5. 派遣	6. パート・アルバイト
7. 専業主婦・主夫	8. 学生(高校生・大学生・その他)
9. 自由業(個人で、自分の専門的知識や技術を活かした職業に従事)	
10. その他(具体的に)	
11. 無職(求職中)	12. 無職(仕事をしたいが、現在は求職していない)
13. 無職(仕事をしたいと思っていない)	

→ 問6で「1. 会社・団体などの役員」～「6. パート・アルバイト」を回答された方にうかがいます。

問7 勤務先の従業員数をお答え下さい。(あてはまる番号1つに○)

1. 20人未満	2. 20～50人未満	3. 50～100人未満
4. 100～200人未満	5. 200～500人未満	6. 500～1000人未満
7. 1000人以上		

→ 問6で「1. 会社・団体などの役員」～「6. パート・アルバイト」を回答された方にうかがいます。

問8 あなたの職場ではメンタルヘルスに関する制度がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. メンタルヘルス相談	2. ストレスチェックの実施や研修	3. 職場復帰支援	4. わからない	5. ない
--------------	-------------------	-----------	----------	-------

問9 新型コロナウイルス感染症流行以降、あなたの心情や考えに変化がありましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 不安を強く感じるようになった
2. 家族以外の人とのつながりが少なくなり、孤独を感じた
3. 家族関係の悪化や家族との考え方の違いに悩まされるようになった
4. 感染対策を過剰に意識するようになり、ストレスを感じた
5. 家で過ごす時間が増え、家族と過ごす時間の大切さを再認識した
6. 在宅勤務や時差出勤の機会が増え、自分や家族の働き方について考えるようになった
7. みんなもつらくて不安なんだと思い、つらい気持ちが少し軽くなった
8. その他 ()
9. 特に変化はなかった

II 悩みやストレスについておたずねします

問10 現在、あなたはどの程度幸せですか。
「とても不幸せ(0点)」から「とても幸せ(10点)」の間で表すと、
何点だと思いますか。数字に○を付けてください。(あてはまる番号1つに○)

とても不幸せ ←————→ とても幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問11 この1か月間に日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどがありますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 大いにある | 2. 多少ある |
| 3. あまりない | 4. まったくない |

問11で「1. 大いにある」「2. 多少ある」を回答された方にうかがいます。

問11-1 それは、どのような事柄が原因ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族の問題(家庭関係の不和、子育て、家族の介護・看病 等)
2. 病気など健康の問題(自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み 等)
3. 経済的な問題(倒産、事業不振、借金、失業 等)
4. 勤務関係の問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働 等)
5. 男女関係の問題(失恋、結婚をめぐる悩み 等)
6. 学校の問題(いじめ、学業不振、教師・クラスメイト等との人間関係 等)
7. その他 ()

問 12 あなたの不安や悩み（いじめ等を含む）、つらい気持ちを受け止めてくれる方、耳を傾けてくれる方はいますか。（あてはまる番号1つに○）

1. いる

2. いない

→ 問 12 で「1. いる」を回答された方にうかがいます。

問 13 それはどなたですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 同居の親族

2. 同居していない親族

3. 友人

4. 近所の方

5. 勤務先の上司や同僚

6. 学校の先生

7. カウンセラー

8. 行政の相談機関

9. 民間の電話相談等

10. 医師

11. 看護師・保健師等

12. ケアマネジャー・ヘルパー

13. その他（具体的に

）

問 14 あなたが日常生活での悩みやストレスを解消するために、よく行うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 買い物

2. 音楽（カラオケを含む）

3. スポーツ

4. テレビ・映画鑑賞、ラジオ

5. 食べる

6. 寝る

7. 人と話しをする

8. お酒を飲む

9. たばこを吸う

10. ギャンブル・勝負ごとをする

11. 旅行やドライブ

12. インターネットの閲覧や投稿

13. 趣味（

） 14. その他（

）

15. 特になし

Ⅲ 相談することについておたずねします

問 15 あなたは悩みやストレスを感じた時に、誰かに助けを求めたり、相談したいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

→ 問 15 で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を回答された方にうかがいます。

問 15-1 それは、どのような理由からですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 助けを求めたり相談することは、恥ずかしいことだから

2. 助けてくれたり相談にのってくれるところが、信用できるかどうか分からないから

3. 助けを求めたり相談した経験があるが、その対応が適切ではなかったから

4. 助けてくれたり相談にのってくれるところを知らないから

5. 悩みやストレスは、自分で解決するから相談は必要ない

6. その他（

）

問 16 あなたはどのような相談の機会や場所があればよいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 公的機関の専門家による相談 | 2. 民間の専門家による相談 |
| 3. ボランティアによる相談 | 4. 同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり |
| 5. 面接相談 | 6. 電話相談 |
| 7. インターネット上での相談 | 8. 訪問による相談 |
| 9. 学校での相談会 | 10. 無料相談 |
| 11. 有料相談 | 12. 居住地でない場所での相談 |
| 13. その他 () | 14. 相談の機会はいらない |
| 15. 知らない人には相談したくない | 16. 相談の機会に関心はない |

問 17 あなたは、不安や悩みやつらい気持ちがあるとき、誰に相談しますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 同居の家族や親族 | 2. 別居の家族や親族 |
| 3. 友人や同僚 | 4. 恋人 |
| 5. 近所の知り合い | 6. 学校や職場の先輩・後輩 |
| 7. 学校の先生や職場の上司 | 8. カウンセラー |
| 9. かかりつけの病院の医師 | 10. かかりつけの病院の看護師 |
| 11. かかりつけの薬局の薬剤師 | 12. SNS |
| 13. 公的機関の相談員 | 14. 民間の相談員 |
| 15. 専門電話やメール相談員 | |
| 16. その他 () | |
| 17. 誰にも相談しない | |

→ 問 17 で「13. 公的機関の相談員」～「15. 専門電話やメール相談員」を回答された方にうかがいます。

問 18 あなたは、その相談先をどのようにして知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1. 町の窓口・町広報・パンフレット・町のホームページなど | |
| 2. テレビ・ラジオ | 3. 新聞・雑誌・書籍 |
| 4. ホームページ | 5. SNS・動画サイトなど |
| 6. 家族・友人・知人などの紹介 | 7. 医療機関 |
| 8. その他 () | |

問 19 あなたは、こころの不調(不安感、イライラ感、落ち込み等)や不眠が2週間以上続く場合、医療機関などを受診しますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. かかりつけの医療機関(精神科や心療内科等を除く)を受診する |
| 2. 精神科や心療内科等の医療機関を受診する |
| 3. 受診しない |

→ 問 19 で「3. 受診しない」を回答された方にうかがいます。

問 20 それはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 自然に治ると思うから | 2. 自分で解決できるから |
| 3. お金がかかるから | 4. 待ち時間がかかるから |
| 5. 周囲の目が気になるから | 6. 時間の都合がつかないから |
| 7. どの病院に行けばいいかわからないから | 8. 体調を崩すのは自分自身が原因だから |
| 9. 医療機関では治せないから | 10. 相談の秘密が漏れるのが不安だから |
| 11. なるべく薬に頼りたくないから | 12. その他 () |

問 21 もし、あなたの家族など身近な人の「うつ傾向・うつ状態のサイン」に気づいたとき、専門の相談窓口へ相談することを勧めますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 勧める
3. わからない

2. 勧めない

問 21 で「2. 勧めない」を回答された方にうかがいます。

問 22 医療機関などの専門の相談窓口へ相談することを勧めないのはなぜですか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 勧めることで嫌な思いをさせてしまうと思うから
2. 金銭的な負担を強いてしまうから
3. どの相談機関の利用を勧めたらよいか分からないから
4. 過去に自分が利用して嫌な思いをしたことがあるから
5. 根本的な問題の解決にはならないと思うから
6. 治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思うから
7. その他（ ）

IV 相談を受けることについておたずねします

問 23 理由はわからないけれども、身近な方がいつもと違った様子で辛そうに見えた時に、あなたがどうするかについてお聞きます。（あてはまる番号それぞれ1つに○）

	しない	あまりしない	ときどきする	よくする
① 相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ	1	2	3	4
② 心配していることを伝えて見守る	1	2	3	4
③ 自分から声をかけて話を聞く	1	2	3	4
④ 「元気を出して」と励ます	1	2	3	4
⑤ 先回りして相談先を探しておく	1	2	3	4
⑥ その他（具体的に ）	1	2	3	4

問 23 での選択肢（①～⑥）の中で、最もよくする対応を教えてください。

問 24 また、その理由を教えてください。

最もよくする 対応の番号を記入	【その理由】

V 自殺に関するお考えについておたずねします

問 25 あなたは「自殺」についてどのように思いますか。(あてはまる番号それぞれ1つに○)

	そう思わない	どちらかという とそう 思わない	どちらとも いえない	どちらか という とそう 思う	そう思う
① 生死は最終的に本人の判断に任せるべき	1	2	3	4	5
② 自殺せずに生きていれば良いことがある	1	2	3	4	5
③ 自殺したい気持ちは繰り返されるので、周囲の人が止めることはできない	1	2	3	4	5
④ 自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う	1	2	3	4	5
⑤ 自殺は自分にはあまり関係がない	1	2	3	4	5
⑥ 自殺は本人の弱さから起こる	1	2	3	4	5
⑦ 自殺は本人が選んだことだから仕方がない	1	2	3	4	5
⑧ 自殺を口にする人は、本当に自殺はしない	1	2	3	4	5
⑨ 自殺は恥ずかしいことである	1	2	3	4	5
⑩ 防ぐことができる自殺も多い	1	2	3	4	5
⑪ 自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを出している	1	2	3	4	5
⑫ 自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い	1	2	3	4	5
⑬ 自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている	1	2	3	4	5

問 26 もし身近な方から「死にたい」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談に乗らない、もしくは話題を変える	2. 「頑張って」と励ます
3. 「死んではいけない」と説得する	4. 「バカなことを考えるな」と叱る
5. 耳を傾けてじっくりと話を聞く	6. 医療機関にかかるよう勧める
7. 解決策を一緒に考える	8. 一緒に相談機関を探す
9. その他 ()	10. 何もしない

問 26 での選択肢(1～9)の中で、最もよくする対応を教えてください。

問 27 また、その理由を教えてください。

最もするであろう 対応の番号を記入	【その理由】

VI 自殺対策・予防等についておたずねします

問 28 あなたはこれまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. ポスター | 2. パンフレット |
| 3. 広報誌 | 4. 電光掲示板(テロップ) |
| 5. のぼり・パネル | 6. インターネット・SNS |
| 7. ティッシュ等のキャンペーングッズ | 8. 横断幕 |
| 9. その他() | |
| 10. 見たことはない | |

問 28 で「1. ポスター」～「9. その他」を回答された方にうかがいます。

問 29 その自殺対策に関する啓発物は、どこで見ましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 役場・保健所等の行政機関 | 2. 図書館・体育館等の公共施設 |
| 3. 駅や電車・バス等の交通機関 | 4. スーパー・コンビニ店舗等の民間施設 |
| 5. 家 | 6. 職場・学校 |
| 7. インターネット | 8. その他() |

問 30 自殺対策に関する講演会や講習会に参加したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 31 自殺対策に関するPR活動(啓発物や講演会など)についてどのように思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 不要 | 2. どちらかといえば不要 |
| 3. どちらかといえば必要 | 4. 必要 |

問 32 あなたは、次のことがらについてご存じですか。(あてはまる番号それぞれ1つに○)

	知っている	内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある	知らない
① 自殺対策基本法	1	2	3
② 自殺予防週間	1	2	3
③ 自殺対策強化月間	1	2	3
④ ゲートキーパー	1	2	3
⑤ よりそいホットライン	1	2	3
⑥ 京都府自殺ストップセンター	1	2	3
⑦ 京都いのちの電話	1	2	3
⑧ 京都自死・自殺相談センター	1	2	3
⑨ 24時間子供SOSダイヤル	1	2	3
⑩ チャイルドライン	1	2	3
⑪ こころの体温計※	1	2	3

※パソコンやスマートフォン、携帯電話を利用して、本人の健康状態や人間関係、住環境などの質問に回答することで、気軽にストレス度をチェックできるシステムです。

問 33 自殺対策は自分自身に関わる問題だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. どちらともいえない | |

問 34 自殺防止対策を重点的に推進した方がよいと思う、対象(年代等)はどこだと考えますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 小・中学生 | 2. 高校生 |
| 3. 大学生 | 4. 児童・生徒の保護者 |
| 5. 企業等で働く人 | 6. 高齢者(65歳以上の人) |
| 7. 自営業者 | 8. 主婦・主夫 |
| 9. 女性 | 10. 男性 |
| 11. その他() | |

問 35 今後求められるものとして、どのような自殺対策が必要になると思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 様々な分野におけるゲートキーパーの養成 |
| 2. 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い |
| 3. 様々な悩みに対応した相談窓口の設置 |
| 4. 自殺未遂者の支援 |
| 5. 自殺対策に関わる民間団体の支援 |
| 6. 自殺対策に関する広報・啓発 |
| 7. 職場におけるメンタルヘルス |
| 8. 子どもの頃からのメンタルヘルス・自殺予防 |
| 9. 自死遺族等の支援 |
| 10. 悩みを抱え込まず周囲に助けを求めることを学ぶ教育(SOSの出し方教育) |
| 11. 子どもが出したSOSに気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施 |
| 12. いじめ防止対策の強化 |
| 13. その他() |

Ⅶ 学生の方におたずねします

問 36 あなたはいじめを受けた、またはいじめを受けている方を見聞きしたことがありますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------|---------------|-------|
| 1. 受けた | 2. 見聞きしたことがある | 3. ない |
|--------|---------------|-------|

→ 問 36 で「1. 受けた」「2. 見聞きしたことがある」を回答された方にうかがいます。

問 37 その際に、誰かに相談しましたか (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 同居の家族・親族 | 2. 同居以外の家族・親族 |
| 3. 友人 (先輩・後輩) | 4. 恋人 |
| 5. 学校の先生 | 6. スクールカウンセラー |
| 7. 近所の方 | 8. 相談しなかった |
| 9. わからない | 10. その他 () |

Ⅷ 自死遺族支援についておたずねします

「自殺」は遺されたご家族や身近な方に「深い心の傷 (トラウマ)」や「深い悲しみ」を残します。その心情に配慮し、「自殺」という言葉を使わず、「自死遺族」という言葉を使うことがあります。

問 38 あなたの周りで自殺 (自死) をした方はいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 同居の家族・親族 | 2. 同居以外の家族・親族 |
| 3. 友人 | 4. 恋人 |
| 5. 学校・職場関係者 | 6. 近所の方 |
| 7. 知人 | 8. その他 () |
| 9. いない | |

問 39 身近な方が自死遺族であり、辛さ (しんどさ) を抱えていることを知った時、どのように対応しますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 相談に乗る | 2. 励ます |
| 3. 細かな状況を確認する | 4. 何らかのアドバイスをする |
| 5. 専門家の相談を受けるように勧める | 6. 特に何もしない |
| 7. その他 () | |

問 40 自死遺族の支援について、知っているものがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 遺族の集い (自由に話せる場) |
| 2. 無料電話相談 |
| 3. 法テラス (借金や法律問題について) |
| 4. 役場の窓口 (心のケア、生活支援、子育てなどについて) |
| 5. 学生支援機構・あしなが育英会 (学費について) |
| 6. いずれも知らない |

IX 「死にたい」と思ったり、繰り返し「死ぬこと」を考えたことがあるかどうかについておたずねします

問 41 あなたのご家族や周りの方で、自殺をほのめかす発言をしている方、また、DVやひきこもり、虐待されている等、深刻な悩みや問題を抱えている方はいますか。その方は、あなたから見て、次のどのような関係にあたりますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 1. 子 | 2. 孫 | 3. 親 |
| 4. 祖父母 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 配偶者 |
| 7. 友人 | 8. 恋人 | 9. 学校・職場関係者 |
| 10. 近所の方 | 11. 知人 | 12. その他（ ） |
| 13. いない | | |

→問 41 で「13. いない」以外を回答された方にうかがいます。

問 42 その理由や原因はどのようなことでしょうか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家庭の問題（家族関係の不和や子育て等の悩み）
2. 病気など健康の問題
3. 経済的な問題（生活困窮、事業不振や会社の倒産、借金等）
4. 勤務関係の問題（転勤や職場の人間関係等）
5. 恋愛関係の問題
6. 学校の問題（いじめ、学業不振等）
7. その他（ ）

問 43 あなたはこれまでに、「死にたい」と考えたことはありますか。
（あてはまる番号1つに○）

1. これまでに自殺をしたいと考えたことはない
2. 「自殺未遂」の経験がある
3. この1年以内に自殺をしたいと考えたことがある
4. ここ5年くらいの間に自殺をしたいと考えたことがある
5. 5年～10年前に自殺をしたいと考えたことがある
6. 10年以上前に自殺をしたいと考えたことがある

これで質問は終わりです。
ご協力ありがとうございました。

※下の「注意」を
読んでください

※注意

次からの設問は、自殺をしたいと考えたことがある（問 43 で「2～6」のいずれかに○を付けた）方に対しておたずねするものです。

回答は強制ではないので、負担を感じる方は回答していただくなくても構いません。

ご協力いただける方だけご回答ください。

問 43 で「1. これまでに自殺をしたいと考えたことはない」以外を回答された方にうかがいます。

問 44 自殺をしたいと考えた理由や原因はどのようなことでしたか。（あてはまる番号すべてに○）

① 家庭の問題	
1. 家族関係の不和	2. 子育て
3. 家族の介護・看病	4. その他（ ）
② 病気など健康の問題	
1. 自分の病気の悩み	2. 身体の悩み
3. 心の悩み	4. その他（ ）
③ 就労の問題	
1. 就職活動	2. 休職
3. 転職	4. 失業
5. その他（ ）	
④ 経済的な問題	
1. 倒産	2. 事業不振
3. 借金	4. 生活困窮
5. その他（ ）	
⑤ 勤務関係の問題	
1. 転勤	2. 仕事の不振
3. 職場の人間関係	4. 長時間労働
(3-1 上司) (3-2 部下)	
(3-3 同僚) (3-4 得意先等)	
5. その他（ ）	
⑥ 恋愛関係の問題	
1. 失恋	2. 結婚を巡る悩み
3. その他（ ）	
⑦ 学校の問題	
1. いじめ	2. 学業不振
3. 教師との人間関係	4. その他（ ）
⑧ その他	
1. その他（具体的に	）

問 45 自殺をしたいという考えを思いとどまった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 人に相談して思いとどまった	2. 家族や大切な人のことが頭に浮かんだ
3. 解決策が見つかった	4. 時間の経過とともに忘れられた
5. その他（ ）	

問 45 で「1. 人に相談して思いとどまった」を回答された方にうかがいます。

問 45-1 相談した相手はどなたでしたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 同居している家族・親族	2. 同居以外の家族・親族
3. 友人	4. 恋人
5. 学校・職場関係者	6. 近所の方
7. 知人	8. 相談機関の職員（町役場、保健所、医療機関等）
9. その他（ ）	

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、

令和6年8月26日（月）までに郵便ポストに投函してください